



# 自分の強みを活かして 主体的、自律的に行動する フォロワーシップ研修

株式会社ハート・ラボ・ジャパン  
代表取締役 知識 茂雄



# はじめに

組織の成果に対する貢献は、その80%をフォロワーが握っているとも言われています。

自発的、自律的なフォロワーシップを発揮するには、まず自分自身の思考のクセを知り、それがどのような場面で強みとなり、弱みとなり得るかを把握することが必要です。

本研修では、Clifton StrengthsFinder®を用いて各自の思考のクセを明らかにし、フォロワーとしての成長の方向性を明らかにします。

自身の強みを伸ばし、弱みと折り合いをつけながらリーダーを支援し、組織に貢献するフォロワーの育成を支援する研修です。

Clifton StrengthsFinder®は米国ギャラップ社の登録商標です。



# 研修のねらい

1. Clifton StrengthsFinder®を用いて自分の傾向性(強み/弱みの元)を理解する。
2. 組織におけるフォロワーとしての役割とその重要性を理解する。
3. リーダーを支援するにあたっての、リーダーとの資質の違いを乗り越えたより良いコミュニケーションのあり方を考える。
4. 自身の資質を強みとして活かし組織に貢献するあり方を考える。
5. 自身の弱みと折り合いをつけ、チームメンバーのサポートを得る協働のあり方を考える。

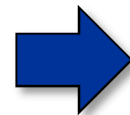
Clifton StrengthsFinder®は米国ギャラップ社の登録商標です。



# 研修の流れ

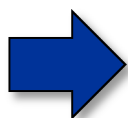
## ストレングスファインダー®の受診

参加者お一人おひとりにストレングスファインダー®を受診していただきます。



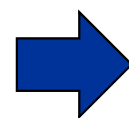
## レクチャー

ストレングスファインダー®の一般的説明、活かし方、資質の説明をいたします。



## 簡易プロファイリング

参加者お一人おひとりの資質のプロファイリングを実施いたします。(時間、人数に応じて書面で実施)



## 研修

ストレングスファインダー®の結果をベースに置きながら、フォロワーとしてのあり方を学んでいきます。

Clifton StrengthsFinder®は米国ギャラップ社の登録商標です。

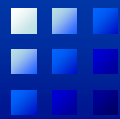
## 1. 参加者各自にClifton StrengthsFinder®を受診していただきます。

※所要時間はお一人あたり30分～40分程度です。

※弊社より受診に必要なアクセスコードをまとめてご提供することも可能です。

受診は是非研修日以前に各自対応をお願いいたします。  
(資質一覧表等の事前準備が必要なためです。)

Clifton StrengthsFinder®は米国ギャラップ社の登録商標です。



# カリキュラム案(第1日)

## カリキュラム案(第1日前半)

### 2. ストレngthスファインダー®のレクチャー & 簡易読込み

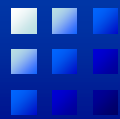
講師にてストレngthスファインダー®のフィロソフィー(哲学)の説明、及びストレngthスファインダー®の各資質詳細について説明いたします。その後参加者お一人おひとりの資質の組み合わせについて読込み(プロファイリング)を実施します。

※人数が多い場合は、事前に簡易プロファイリングシートをお渡しし、口頭でのプロファイリングを簡略化します。)

時間	内容	備考
3時間程度	<ul style="list-style-type: none"><li>①ストレngthスファインダー®のなりたち</li><li>②才能と資質</li><li>③資質の4つのグループ分け</li><li>④資質の二面性“バルコニーとベースメント”</li><li>⑤資質のダイナミクス(組み合わせ)</li><li>⑥34資質の簡易説明 &amp; 各自プロファイリング</li></ul>	

※時間は目安です。内容を一部変更することがございます。

Clifton StrengthsFinder®は米国ギャラップ社の登録商標です。



# カリキュラム案(第1日)

## カリキュラム案(第1日後半)

### 3. 自分なりのフォロワーシップを考える

ご自身の資質の組み合わせによる傾向性を理解していただき、そして自分にはない資質についても理解を深め、自分と他人は本質的に違うことを前提として、リーダーとのより良いコミュニケーションのあり方や、組織の中での自身の役割を考えていただきます。

時間	内容	備考
4時間程度	<ul style="list-style-type: none"><li>①組織におけるフォロワーの存在の重要性と役割</li><li>②リーダーとの思考の違いを配慮したコミュニケーション</li><li>③自分の資質を強みとして活かした組織への貢献</li><li>④自分の弱みとの折り合いの付け方 (成長の方向とチームメンバーとの協働)</li><li>⑥自分なりのフォロワーシップ確立のための行動目標</li></ul>	

※時間は目安です。内容を一部変更することがございます。

Clifton StrengthsFinder®は米国ギャラップ社の登録商標です。



# 個人ごとプロフィールシート例

〇〇 〇〇様

1	最上志向
2	調和性
3	学習欲
4	アレンジ
5	適応性

## 仕事の進め方（強み）

- ☑わからないことは自ら積極的に学び（学習欲）、高い成果を効率的に出すことができる。（最上志向×アレンジ）
- ☑周りとは対立することなく協調しながら（調和性）、変化を柔軟に受け入れフレキシブルに対応できる。（アレンジ×適応性）

## 陥りやすい罠（弱み）

- ☑質の高さにこだわりが出てしまうため、必要以上に手間と時間を掛けてしまいがち。（最上志向）
- ☑自らの意見を表に出さず押し込めてしまいがち。（調和性×適応性）
- ☑目標を持ち、計画的に物事を進めるのは苦手。（適応性）

## フォロワーシップ発揮の方向性と成長の方向性

- ☑質の高い成果を効率的に出すことを意識する。（最上志向×アレンジ）
- ☑環境の変化にも、新たな学びを得ながら柔軟に対応することを意識する。（学習欲×適応性）
- ☑多様な人々との関わりの中で、協調性を最大限に発揮する。（調和性×適応性）
- ☑時に、勇気を持って上司に進言することも心がける。（調和性の弱みの部分と折り合いをつける）

参加人数が多く口頭でのプロフィールが難しい場合、本シートを参加者全員の方にお配りします。